

令和4年7月7日（木）

あつとうてきたか おお ぜっけい たいけん
圧倒的 高さ、大きさ、絶景 を 体験

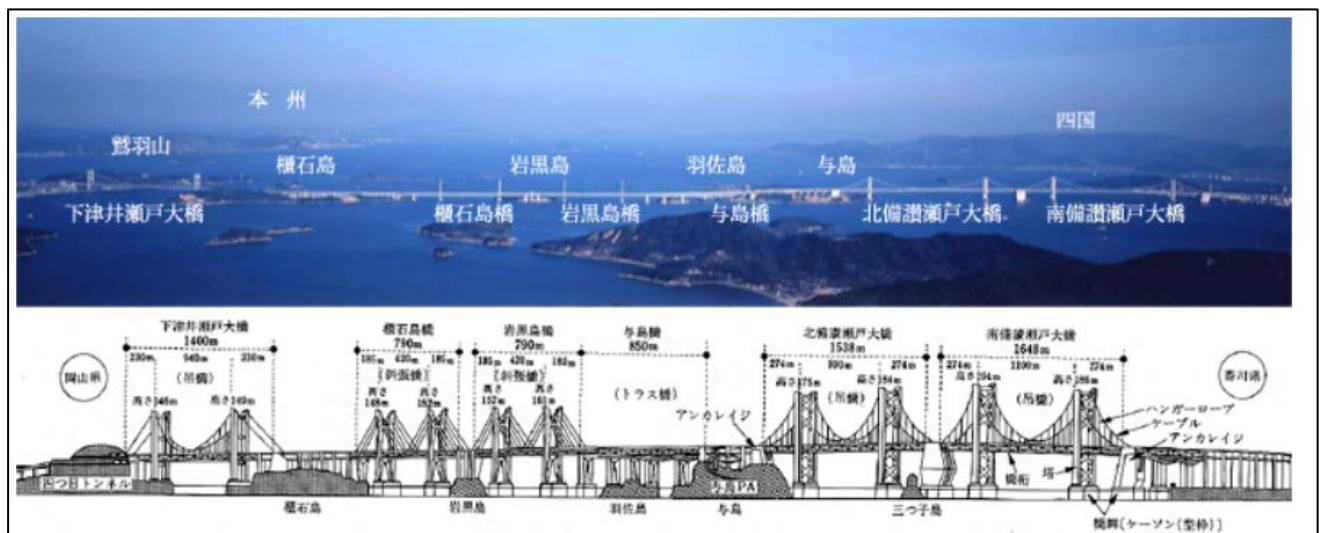
せ と おおはし げん ば けんがく
～瀬戸大橋 現場 見学～

こんにちは、計画課です。梅雨が明けて本格的に夏が到来しました。夏らしく気温は30度を超えており、岡山県では14年ぶりに渇水による取水制限の話が出たりしています。

今回はそんな夏真っ只中に、若手職員を中心に岡山国道事務所職員6名で本州 四国 連絡 高速道路 株式会社 が管理する瀬戸大橋にお邪魔しました。

1. 瀬戸大橋とは

瀬戸大橋は、岡山県 倉敷市 から 香川県 坂出市の 海峡部に架かる吊り橋、斜張橋、トラス橋6橋などによる道路と鉄道の併用橋です。1988年（昭和63年）4月に開通しました。



※本州四国連絡高速道路株式会社 HP より引用

2. 現場見学

今回、瀬戸大橋の中の与島パーキングエリアから近い「北備讃瀬戸大橋」のアンカレイジ（きょうだい橋台）から管理用通路を通して主塔頂上しゅとうちようじょうを見学しました。早速当日の様子を見てみましょう。

集合場所は与島パーキングエリアの駐車場で、今回ご案内していただくJB（本州四国連絡高速道路株式会社）のお二人と待ち合わせ



挨拶もそこそこに駐車場にあるケーブルの模型のところで説明を受けます。



続いてケーソンで使用された海中コンクリートのサンプルについて説明を受けます。

瀬戸大橋で使われているケーソンには「海中コンクリート」が使われていて、先に石を入れておいて隙間をモルタル注入する方法が取られました。



海中コンクリートサンプル



でかい石がそのまま残ってるんだな・・・

すぐ近くの広場で航路や JR の話を聞きます。

南北備讃瀬戸大橋の真下は国際航路になっています。航路は外国のルールに則って右側通行ですよ。JR は 1 時間に 2~3 本ぐらい、貨物列車は 1 日に数本通ります。（うちの仕事じゃないですけど）

なるほど。船も車
と同じなのか。



JR 時刻表

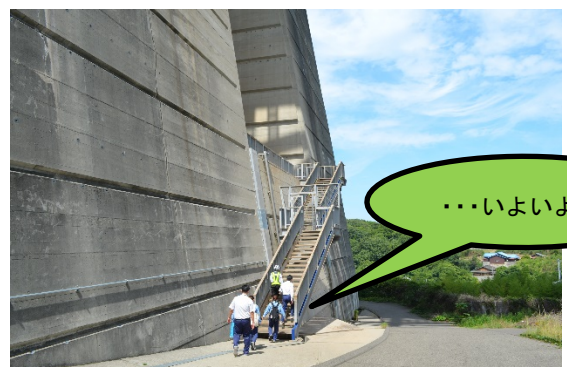


いよいよ現場のメインとなるアンカレイジ（橋台）へ

近づいてみる
と高いなあ



・・・いよいよか。



暑い。このままだとや
ばいかも・・・



ドアの先は・・・

ひんやり

気温 24 度



アンカレイジの中は、分厚いコン
クリートに囲ま
れていて、気温
の変動があまり
なく、夏は涼しく、
冬は暖かいそ
うです。

ここで早速水分補給を

熱中症には気を付けなくちゃ

涼しい。生き返る・・・。



ここで橋の工事について説明を受けます。

発破か。トンネル工事ぐらい
でしか使わないな。

ケーソンを海中に置くために
まずは、海中発破から・・・



いよいよ橋の管理通路へ向かいます。

緊張してきた・・・。

携帯電話や眼鏡を落とさ
ないようにストラップを
つけて下さい。



高いところあまり得意
じゃないんだけどな。

本番はここからですよ。



管理用通路に到着。主塔部へ向かって進みます。



今 JR は在来線のみですが、将来新幹線も掛けられるスペースがあります。また、電気や通信ケーブルなどがたくさん設置されていますので、結構頻繁に業者さんが来られます。



主塔部に行く前に JR の通過待ち



JR の通過も見られたところで、いよいよ主塔へ登ります。





そして海面から 175m の主塔頂上へ到着。そこで見た景色は・・・





主塔頂上から岡山
県方面を望む

素晴らしい景色が！！



主塔頂上から香川
県方面を望む

主塔頂上で景色を見ながら質問を



2.5m 以上あるけど結構
車幅ぎりぎりだよ。

パトロール車が車道の端
っこを走っていますね。

橋の上はすごく
舗装がキレイ

景色を堪能して、名残惜しいですが頂上から降ります。



ということで無事に地上まで帰ってきて今回の現場見学は終了。



今回の現場見学で、瀬戸大橋という巨大な構造物がどのように工夫して作られたか（アンカレイジやケーブルなど）また、瀬戸大橋がなかった時代、海路で本州と四国を行き来していた際に修学旅行で乗船された学生の方々が水難事故で亡くなったことから瀬戸大橋が作られるきっかけになったこと、200 年耐えられる構造物として作られ、ケーブルを含め色々なメンテナンスをされていることなど、掲載していない部分でも色々なことを教えていただきました。

ご案内していただきました本州四国連絡高速道路株式会社の藤田様、長友様には改めて感謝いたします。同じ橋や道路をメンテナンスする立場として、管理している物の規模は違いますがこちらも頑張らなくてはと思いました。

今回参加した若手職員も普段見られないものを見て感動し、知らなかった技術や苦勞を知ったことで、今後の仕事にも生かして貰えると思います。

瀬戸大橋の与島パーキングエリアに寄られた際には是非、ケーブルの模型や、コンクリートのサンプルなどを見て頂き、瀬戸大橋のすごさを感じて頂ければ幸甚です。

記事作成：計画課 S